

牛久市教育委員会 2月定例会会議録

1. 日 時 平成29年2月20日(月)午後1時30分
2. 場 所 市役所本庁舎 第3会議室
3. 出席委員 染谷 郁夫・石井 美知夫・後藤 雅宣・芦田 亜里香・五十嵐 登喜子
4. 委員以外
の出席者 次長 飯野 喜行
次長 杉本 和也
教育総務課 課長 川真田 英行
教育総務課 学校建設対策監 佐藤 孝司
指導課 課長 村松 美一
放課後対策課 課長 吉田 茂男
中央図書館 館長 関 達彦
スポーツ推進課 課長 齋藤 勇
教育総務課 課長補佐 富田 真幸
教育総務課 課長補佐 戸塚 美幸
教育総務課 課長補佐 森田 明
教育総務課 課長補佐 高野 裕行
指導課 課長補佐 山口 明
指導課 指導主事 原 成彦
文化芸術課 課長補佐 永沼 智子
生涯学習推進室 室長補佐 山越 義弘
スポーツ推進課 課長補佐 飯島 美博
5. 欠席者 教育部長 川井 聡
文化芸術課 課長 手賀 幸雄
生涯学習推進室 室長 横瀬 幸子
スポーツ推進課 課長補佐 高橋 頼輝
6. 会議録署名人 五十嵐 登喜子
7. 報告事項 報告第2号 (仮) ひたち野うしく中学校基本設計について
報告第3号 奥野小学校、牛久第二中学校におけるコミュニティースクールの導入
経過について

教育長	(あ い さ つ) 開会を宣言する。
-----	---------------------------

<p>教育長</p>	<p>会議録署名人 五十嵐 登喜子 委員を指名する。</p> <p>それでは、報告第2号「(仮) ひたち野うしく中学校基本設計について」、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>教育総務課学校 建設対策監</p>	<p>それでは私から、あくまで今日時点での基本設計という認識でお願いしたいと思います。この後、建設検討委員会第4回委員会が今週23日に控えておりますので、そちらの意見等で、今日お示ししている案が変更になる可能性もありますので、その辺はお含みおきをいただきたいと思います。</p> <p>それでは、A3の(仮称) ひたち野うしく中学校校舎建設工事という資料があると思いますけれども、それを1枚めくっていただきまして、こちらに全体の配置図がございます。</p> <p>敷地としましては、北側と南側に2つに分かれている状況でございますけれども、北側の土地に関しては、7, 240平米、それから南側に関しましては、39, 790平米ということで、細かい数字までいきますと、合わせまして47, 038. 75平米という敷地でございます。</p> <p>これまで4カ月余りにわたりまして検討しました結果、この北側の土地に関しましてはテニスコート4面、それから教職員の駐車場を配置するという計画にしております。教職員駐車場は60台と書いておりますけれども、市役所などで今駐車場というと大体横幅2. 5メートルというのが普通なのですけれども、今コンビニ等ではドアを開けたときに大丈夫なように2. 8メートルとることが主流になりつつありますので、今回に関しましては1区画2. 8メートルとる形で60台としております。</p> <p>南側のメインとなる敷地でございますけれども、北側に体育館、武道場、給食室を配置しまして、その南側にメディア棟を中心としまして普通教室棟と特別教室棟を左右にくっつけるという配置をしております。</p> <p>その南側に駐輪場、これは600台となっております。こちらに関しましては、今現在1学年5クラスで計算して15クラス程度ということで校舎の規模を考えておりますので、1クラス40人としまして、15クラスですので600人という計算で、600台という数を記載させていただきました。</p> <p>グラウンドに関しましては、野球場、200メートルトラック、それからちょっと敷地が変則なものですから、100メートルの直線に関してはこの斜めのような配置で今考えておりますけれども、このようなグラウンドを配置しまして、その南側に屋外のバスケットボールとバレーコート等を配置するということを考えております。</p> <p>東側ですけれども、まずひたち野うしく小学校寄りのところに小・教職員用駐車場という記載がございます。こちらに関しましては、今現在こちらでいうバスケットコートとか体育倉庫という記載のところ、仮設でひたち野うしく</p>

小学校の駐車場をつくっております。そちらの振りかえという意味で、この東南のほうに小学校の教職員の駐車場として確保させていただきました。こちらに関しましては、今仮設でつくってある台数よりは大幅減ってしまいますけれども、41台という台数はとれるのではないかと考えています。

幼稚園に関しましては、この敷地の中で第一幼稚園の移転先を検討する場合にはこちらの東側に配置するのがいいのではないかとということで、今現在は進めているところでございます。

もう1枚めくっていただきますと、各校舎に関しての詳しい配置が書いてございます。上のほうから説明させていただきます。

武道場に関しましては、柔道場、剣道場それぞれ1面がとれるような面積でございます。男女のトイレ、更衣室、それから金庫を備えるという形でございます。

体育館に関しましてはバスケットコート2面がとれる広さで、ステージ、それから金庫等も備えまして、それからトイレに関しましては男女、それから真ん中に多目的トイレを設置する予定でございます。それに更衣室男女を設置するという形になります。防災関係の備品に関しましては、ひたち野うしく小学校の体育館もそうなんですけれども、ステージ下に防災用の備品を収納するという計画をしております。

その右側に給食室を設置いたします。牛久市の場合には自校方式をとっておりますけれども、これに関しても自校方式ということで考えています。幼稚園を先ほどの建設予定地に作った場合には、その分もここから配食するという考え方をしておりますので、800食程度が作れる給食室を考えてございます。

真ん中に屋根つき広場という表記がございます。こちらに関しましては、愛知県の豊田市に浄水中学校という学校がございまして、今年の夏にプロジェクトチームでそちらを視察してまいりました。ちょっと小さくて申しわけないんですけれども、向かって右側が体育館で、左側が教室棟という感じでございます。その間に屋根をかぶせて、ここを多目的に利用できるような施設をつくってございました。こちらに関しましては、いろんな地域の方が来てイベントを行ったりということでも活用できるという話を聞いております。今回に関しましては、こういったものをつけることによって、例えば体育館が避難所となっているような物資が届いてきた場合に、いきなり体育館に入れるのではなくて、この屋根つきの広場の下でいろいろ仕分けをした上で搬入するということにも活用できるとプロジェクトチーム等で話し合いをしまして、今回こういったものをつけたらいいのではないかとということで、基本設計の中ではこういったものを計画してみようということにしております。

それと、その南側に教室棟を設置しているわけなんですけれども、まず体育館、武道場、それから給食室に関しましては、鉄筋コンクリートでつくろうと考えています。この教室棟に関しましては、木造で平屋ということで考えています。この木造校舎についての考え方でございますけれども、国におきまして

は平成22年に公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律というものを制定してございます。木材の利用を促進することで地球温暖化の防止や循環型社会の形成、それから市民の有する国土の保全等に寄与するというようなことで、この法律ができました。それを受けまして、県でも平成23年に県有公共建築物の木造化・木質化等の推進に関する指針といったものを定めてございます。これに関しましては、国の法律を受けまして、県民に健康で快適な公共空間を提供するという趣旨でこういったものをつくっております。それらを受けまして、市でも平成25年4月に牛久市有公共建築物の木造化・木質化等の推進に関する指針といったものを定めております。それ以降、結束町にあります牛久市地域連携医療センター、これに関しては木造平屋建てで建設をしております。それから、今現在建てております下根中学校の仮設校舎に関しましても木造平屋建てでつくっております。それから、同じく今年度、今つくっておりますけれども、中根小児童クラブに関しましては木造の二階建てで施工をしております。というような流れがございまして、それ以前に牛久市におきましては学校の耐震補強、それから大規模改造等におきまして、平成15年度の牛久第二小学校のそういった工事のときから腰かけ等の木質化を進めてまいりました。ひたち野うしく小学校に関しましてはそれらをさらに進めるような形で、基本構造は鉄筋コンクリートでございまして、今まで以上に木をふんだんに使った校舎をつくりまして、好評を得ているというところでございまして、今回の中学校についてはこれらの考え方をさらに進めるとともに、バリアフリーの観点から全部平屋でという考え方をしております。

それから、将来の生徒数減少値に対しての検討ということも以前から言われておりましたけれども、今回これを見ていただきますと、メディアライブラリーそれから多目的教室というのをメインにしまして、それぞれ学年ごとに脇にウイングのような形で配置をしております。例えば、5クラスぐらい減ったときには、ここの1つをこちらのメディアライブラリー棟のところからシャッターあるいは引き戸等で仕切ってしまえば、ここの棟は独立して多用途に変更できるということを考慮しまして、こういった平屋建てでウイングのような形を検討したということでございます。

特長的なものとしましては、まず普通教室棟に関しましては、まずメディアライブラリーのところから行きますと、最初に相談室兼学年職員室というものを配置しております。これに関しましては、中学生ですのでいろいろ進路等に関して担任等への相談事が多いのではないかとということで、学年ごとにそういったものを設置したらどうかという考え方で、こういったものを配置しております。

北側には資料室、それから給食の配膳室を設置しまして、廊下を配置しております。

廊下も、通常の廊下ですと大体2.7メートルぐらいなんですけれども、それにワークコーナーという、ちょっと見づらいたいんですけども、表示をしております。

ます。さらに90センチ広くしまして、そこにベンチ等を配置することによって、子供たちが友達と話したりとか、そういったちょっとした空間をつくらどうかということで、ですから実質的には廊下は3.6メートルぐらいになるということでございます。

それから、当初1学年5クラスということで5教室を配置しておりますけれども、この真ん中のところにワークスペースという、これは何もない状態で、これは普通教室1教室分の広さをとってございます。将来的に6教室が必要だという場合には廊下側にちょっと壁をつくるだけで普通教室に転換できるという考え方で、このワークスペースというものを配置しております。その北側に男女のトイレを設置しているということでございます。東側に波線でバツ印がついている部分がございますけれども、さらに教室が必要な場合にはここに1教室分の増築エリアを確保するというので、こういった配置をしてございます。

それから、戻りまして、昇降口のメディアライブラリーという表示をしておりますけれども、こちらに関しましては、2枚めくっていただくカラーのページがございます。これが正面入ってすぐに化粧室ということで、これに関してはどちらかというひとたち野うしく小学校と同じような考え方で、図書館を真ん中に配置することによってそれぞれの学年が集まってこられるということで、真ん中に配置をしております。ひたち野うしく小学校と違いますのは、北側に、今までですとパソコン教室というものを独立させた形で配置しておりましたけれども、これからはどちらかという、今までのようなデスクトップのパソコンではなくてタブレットのような形態が増えてくるだろうということで、タブレットが置けるだけの机があれば十分ではないかということで、北側にちょうど10席、机10個を配置しておりますけれども、ここが今まででいうパソコン教室に当たる部分ということで、図書室とパソコン教室を一体にしてメディアライブラリーという表現でこういったものを配置してございます。

戻っていただきまして、その北側に更衣室等を挟んで多目的室というものを設置しております。これに関しましては、学年で集まる学年集会等ができるスペースがあるというお話がございましたので、広さ的には子供たちが体育座りをして200人入れるだけのスペースをこちらに確保させていただきました。それ以外にも先生方のいろいろな研修会等も開いたりとか、まさに多目的で使える部屋ということで、こちらに配置をしております。

西側に特別教室棟を配置しております。中学校で必要な美術室、木工室、理科室、家庭科室等を配置してございますけれども、今回特長的なものとしては、一番西側に地域活動室といったものを配置させていただきました。これはこの後の報告でもございますコミュニティ・スクールというものを今後広げていくということで、今回それに使えるような部屋を確保してほしいということがございましたので、こちらを確保させていただきました。それに関しまして、1枚めくっていただきますと、アップの図がございます。コミュニティ・スカー

	<p>ルに関しましては、これだというものがまだ決まっていないということもございますので、先ほど言いました浄水中学校等では市コミュニティーホールというような配置をしておりまして、隣の千葉県の印西の牧の原小学校というところも、こちらがそうなんですけれども、こちらのところに地域交流センターというものを配置しているようなところも視察をさせていただきました。おおむね、ちょっとした給湯コーナーがあって、そのほかちょっとしたテーブルを配置できれば、ある程度コミュニティ・スクールというものを実現はできるのかなということで、今回このような配置をさせていただきました。</p> <p>今回、音楽室1、2というのがございますけれども、音楽室2の方がかなりスペースをとっております。こちらに関しましては、吹奏楽が大会に参加する場合には50人編成ということになっているそうです。50人編成でおのこの楽器をちゃんと配置しておさまるだけの面積を確保させていただきました。なおかつ50人だけではなくて、部活となるとそれプラスアルファ、70人程度吹奏楽部の部員がきた場合でも、きちっと練習ができる広さを確保させていただきました。</p> <p>トータルの校舎の面積としましては、左上にございますけれども、6,200平米です。体育館に関しましては1,700平米、武道場に関しましては650平米、それから給食室に関しましては480平米ということで、当初のプロポーザルの時点で要求しました面積でほぼいけるという案になっているところでございます。</p> <p>かなりスピードを上げての説明だったので、ちょっとわかりにくいところもあったかもしれませんが、現時点で、担当それからプロジェクトチーム等でつくり上げた基本設計の、あくまで今日時点での案でございます。繰り返しになりますけれども、今週の23日に建設検討委員会、これは前にもお話ししましたけれども、地元の区長、PTAの代表の方、下根中学校それからひたち野うしく小学校の教頭先生方に入っている検討委員会でございますけれども、そちらに提示をさせていただきます、おおむねこれでいいだろうといった場合に、基本設計が完成ということになります。</p> <p>私からは、以上になります。</p>
<p>石井職務代理者</p> <p>教育総務課学校建設対策監</p>	<p>小学校の敷地と中学校の敷地の高低差はありますか。</p> <p>最終的には、グラウンドになるところと、ちょうど間にある道路がございますけれども、ここに段差はできるかと思えます。今小学校のほうは擁壁になっておりますけれども、あのような擁壁は組まないで、自然な勾配にしようと思っております。敷地全体が北側と南側で2.5メートルほどの高低差がございますので、今考えていますのは、校舎が建っているところからグラウンドのほう</p>

石井職務代理者	<p>は1段下がるような感じで、イメージ的には神谷小学校のような、あそこまでの高低差は出ないと思うんですけども、あのような形でグラウンドが一段低くなるような計画で進めようと思っております。</p>
教育総務課学校建設対策監	<p>雨が降った場合の雨水は北から南へ流れるような感じになりますか。</p>
石井職務代理者	<p>そうですね、基本的にはここに降った雨は全部この敷地の中に浸透させるというようなことで、U字溝も浸透するようなもの、それから西側の駐車場はちょっと大型バスが入ったりするので普通の舗装になりますけれども、それ以外の駐車場に関しては基本的には浸透の舗装ということで考えております。</p>
教育総務課学校建設対策監	<p>あともう1点、これはそんなに飛ばないと思うんですけども、バックスクリーンから小学校との境まで約100メートルぐらいだと思うのですが、小学校側に防球フェンスのようなものは設けるのでしょうか。</p>
石井職務代理者	<p>一応この波線で、ちょっと扇形になっていますけれども、これが大体80メートルなんです。なので、これを越えて小学校の敷地まで中学生のレベルではいけないと思いますので、あえてこちら側に防球ネットというのは、つけなくてもいいかと考えております。</p>
教育総務課学校建設対策監	<p>それでは、一般の方に開放することは考えていないということですか。</p>
芦田委員	<p>そうですね。今後、実質設計のほうでもその点に関しては検討していきたいとは思っております。</p>
教育総務課学校建設対策監	<p>中学校のプールはどうなっているのでしょうか。</p>
教育総務課学校建設対策監	<p>プールは、基本的にはひたち野うしく小学校のプールがございますので。もしくは、中学校は下根運動公園のプールを使うということになっておりますので、そちらのどちらかということになるかと思えます。</p>

<p>後藤委員</p>	<p>この後、幼稚園の給食、中学校の正門、駐車場等について質疑有り。</p> <p>現段階での配置計画ということでお話をお伺いして、ここで実際に中学生が日常的な教育を受けている風景を想像すると、とても嬉しくなるような明るい話題だなということなんですけれども、他方、牛久市全体のほかのエリアの小中学校のことをこれまで我々は考えてきたつもりで、さまざまな教育に係る予算というのは、特に牛久市の場合はこれまでもほかの比率より高かったと思うんですけれども、数年後には新しい学習指導要綱に移行していく折に、また様々な教育に関わる予算というのがとても大きな額として想像できるんです。よい学校をつくらうということだけに注目すると、ここをこうしてほしいなんていう個人的要求というのがたくさん出てきてしまうんですけれども、今お話をお伺いして、例えば屋根つき広場であったり、ワークコーナーであったり。これは、古い校舎で勉強している小学生・中学生のことを考えると夢のような風景なわけですよね。だから、理想とか今日的合理性を求めつつも、予算的な工夫というのもしているのだという説明がほかの地域の小中学校なんかに対してできるような工夫というんですか、それをあわせて進めていく必要があるのかなと思ってしまって。無限に教育に回していただける予算があるとは思われないわけです。それがためにやっぱりメディアとかITとか、これからの世界に対応していく様々な教育的予算というのが削られていくようであれば、ちょっと本末転倒になっていくので。教育委員会のスタンスとしては、決してぜいたくをしようとしてはいないのだと、いろんな工夫をしようとしているが予算的な努力というか、そういうものをあわせてやっているんだという示し方ができれば一番いいのかなとちょっと感じます。</p>
<p>教育総務課学校建設対策監</p>	<p>事業費ということになるかなと思うんですけれども、事業費ということになりますと、すごく厳しい条件がいろいろ、前のひたち野うしく小学校をつくった時点よりも状況は厳しくなっております。昨今の人材不足によりまして、人件費等が3割程度上がっています。それから、今年度になりましては設計上の一般管理費という経費の部分、そちらの率の改定がございまして、そちらでも事業費が増大するという見込みです。それから、ちょうど建設時期が国立競技場等のオリンピック関連施設の建築と重なるということもございまして、今後資材等の高騰も懸念されるといったことがございます。ですので、現時点で全体事業費というのをつかむことが、我々としても非常に難しいところではございます。ただ、その中で、先ほど後藤委員からございましたように、そうは言ってもやっぱりコストを全く無視した校舎をつくるというつもりはございませんので、例えば構造一つに関しても、何種類かの構造の中から、安価だけれど</p>

	<p>も安全・安心なものということで、全てのものに関しましてコスト比較というのをやった上で設計をまとめようというスタンスであります。</p>
<p>教育長</p>	<p>教育委員会としても全体のバランスをとった学校施設の充実というのは考えているわけですから、教育総務課からもそれについて何か一言ありますか。ひたち野の場合に限らず、既存の学校も同じように充実させているということは、今計画的に進んでいるわけですね。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>もちろんそうです。ほかの学校も大規模改造等の課題もありますので、当然それは年次ごとに捉えて、金額のほうも概算ですけども捉えておりますので、そういった中で事業をきちんと並べていくというつもりではあります。</p>
<p>教育長</p>	<p>市内全部の学校のバランスのとれた教育をよろしくお願いします。</p>
<p>教育総務課 学校建設対策監</p>	<p>こちらの配置に関してはよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、先ほど申しましたように、23日の建設検討委員会で最終的な結論を得た上で、あくまで今の予定ですけども、3月の最終土曜日、25日になるかと思うんですけども、そちらで地元での説明会等を予定しております。それに関しましてはまた通知等を差し上げたいと思っておりますので、少し予定の中に入れておいていただければと思います。</p> <p>それでは、続きまして学校名に関してでございます。</p> <p>そちらに、別にA3で一覧表をつけさせていただきましたけれども、1月16日から2月15日の1カ月間、一般公募をさせていただきました。トータルで261名の方の応募がございました。最終的には92種類の学校名が上がってきてございます。当初、我々の予測ではせいぜいこの半分ぐらいかなと思っておったんですけども、やはり子供たちの発想とかそういったものにいろいろ驚かされるような校名もございますけれども、これが公募した結果でございます。こちらに関しても今度の建設検討委員会で3つ程度に候補を絞らせていただきたいと考えております。その後、3月の教育委員会定例会で絞り込みをまたお願いしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ちなみにこれはあいうえお順で並べてあるんですけども、投票数の多いもの、あくまで参考ということでお聞きいただければと思いますけれども、「ひたち野うしく中学校」、野は漢字でうしくはひらがなというものが全体で72件の応募でございます。いわゆる「ひたち野牛久」で漢字が混じったりとかいう、音読みだと全く同じというものを計算すると、約100票程度でございます。そ</p>

	<p>のほかに多かったのは、これは位置的なもの等を考慮したということだと思っ んですけれども「牛久北中学校」というのもかなり多かったということでござ います。10票以上となりますと「ひたち野うしく中学校」「ひたち野中学校」 それから「ひたち野牛久中学校」「牛久北中学校」「ひたち野西中学校」とい うのが10票以上あったというものになります。読んでいくとかなり時間がかか ってしまいますので、説明は省略させていただきます。</p>
<p>教育長</p>	<p>次に、報告第3号「奥野小学校、牛久第二中学校におけるコミュニティ・ス クールの導入経過について」、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>放課後対策課長</p>	<p>報告第3号「奥野小学校、牛久第二中学校におけるコミュニティ・ス クールの導入経過について」ご説明いたします。</p> <p>まず資料の1枚目、カラー刷りのほうをごらんください。</p> <p>こちらはコミュニティ・スクールとはということで、簡単におさらいをした いと思います。学校と地域がパートナーとしての協働・連携をしていくため には、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目 標やビジョンを、学校と地域住民、保護者が共有することが大切となります。 そして、地域と学校が一体となって子供たちを育む、地域とともにある学校へ 転換していく必要があります。コミュニティ・スクールはそのための仕組みで す。この制度を導入することで、地域ならではの創意や工夫を生かした特色あ る学校づくりを進めていくことができます。具体的には、コミュニティ・ス クールになりますと、教育委員会の指定により学校運営協議会が設置されま す。学校運営協議会は学校のおきパートナーとなるものでありますので、校 長先生が描く学校のビジョンを地域住民や保護者と共有して共に汗をかき、そ のビジョンの実現を目指そうというものであります。</p> <p>コミュニティ・スクールについて簡単に説明させていただきました。</p> <p>次のページをお開きください。</p> <p>奥野小学校と牛久第二中学校では、これまでの経過になりますけれども、こ のコミュニティ・スクールの仕組みを導入すべく平成27年度の下半期より奥 野小学校コミュニティ・スクール実施委員会を立ち上げまして、奥野小学校に おける特色ある教育活動の状況や、子供や地域の良さ、課題等についての話し 合いを通じまして、目指すコミュニティ・スクール像について検討してきまし た。実際には、委員の方々から奥野小学校における熱い思いをお聞きし、みん なでどういう学校にしたらいいかということをご共有してまいりました。平成28 年度になりまして、小中一貫教育の観点から、牛久第二中学校も含めまして「お くのキャンパス コミュニティ・スクール推進委員会」として開催をいたして おります。ここではコミュニティ・スクールの仕組みについて理解を深めると</p>

ともに、先進事例を参考にしながら、実際に導入した後、学校運営協議会内の組織や構成メンバー、それから実際の議題などについても検討を行いまして、平成29年度からの導入に向けて準備を進めてきたところです。そして、先月の定例会でご審議をいただきまして、3月1日からの指定となったわけです。

ところで、学校運営協議会では、学校支援の総合的な方策について企画・立案がされるわけですが、その具現化する機関としましては、地域学校共同本部、とりわけ地域・学校コーディネーターの役割が大変重要となります。コーディネーターは学校と地域をつなぐ窓口であり、地域連携のキーパーソンとなります。現在、各小学校長からの推薦を受けまして2名から4名ほどの配置をいたしておりますけれども、今後さらに3名から5名程度にふやしていく予定でおります。

現在の具体的な活動としては、主に土曜カップ塾のコーディネートを行ってもらっています。しかしながら、次年度からは少しずつ活動を広げまして、学校サポーターの教育活動の調整や学校への紹介、それから環境整備活動の支援など、学校ニーズに応える取り組みについても従事できるように育成していきたいと考えております。

続きまして、3ページ目をごらんください。

おくのキャンパスにおける今後の予定、平成29年度の予定になります。3月1日の指定を受けまして、第1回学校運営協議会の開催を3月22日水曜日に予定しております。ここでは、平成29年度の学校運営における基本方針、つまりブランドデザインを承認することになりますけれども、あわせて地域の学校が共同で行っているおくのふれあいまつりやサマーコンサートについても議題として意見交換をしていく予定でおります。2回目以降はごらんのような日程で、1年間をかけて計5回程度、それぞれの議題で運営協議会を開催していきたいと思っております。しかしながら、この間の推進委員会の会議の中で、特に1年目については新たに新しい活動を生み出していくことよりも、現在ある奥野地区のさまざまな活動を充実させていこうということで方向性が話し合われて、1年間続いていくものと思っております。

簡単ではございますが、以上でおくのキャンパスにおけるコミュニティ・スクールの導入経過と、今後の予定について説明を終わります。

五十嵐委員

平成29年度の活動の中に、市民体育祭への参加の仕方についてとありますがどのようなことなのでしょう。

その他、奥野地区というのは地区単位で行動している部分があると思うのですが、学区外から入ってきている児童がいます。その子たちの地区での活動という部分はどのようにしていくのでしょうか。例えば、岡田小学校から奥野小学校に行ったとなると、岡田小学校では子供会のようなものに入っている、奥野小学校に行ったら地区外になるわけですね。また、地区外から入ってきて

<p>放課後対策課長</p>	<p>いるお子さんについても、そういう地区活動を行う場合の扱い方というか、その辺もちょっと配慮していただければいいのかなと思いました。</p> <p>確かにおっしゃるとおりだと思います。奥野小学校、小規模特認校ということで、今後奥野地区以外からの受け入れをするお子さんたちが結構いらっしゃいますから、そういう子供たちと地域との交流等の仕方というか、関わり方というのが議題になってくるのかなと思います。</p>
<p>五十嵐委員</p>	<p>それからもう1点なんですが、これはおくのキャンパスに関わることだけではなくて、これからコミュニティ・スクールを立ち上げていく部分があると思うんです。おくのキャンパスという形で、前回の定例会のときに運営協議会の委員の承認をしましたがけれども、ただ、1小学校1中学校の場合はいいんですけども、例えば牛久第一中学校なら岡田小学校と神谷小学校が一緒になりますよね。そこで3校が一緒になったときの運営委員の選任の仕方というのがちょっと難しくなるのかなと思います。</p> <p>それと、中学の場合、幼稚園っていう部分の関わりというには少なくなるので、その辺のところもちょっと課題が大きいかないかなと思いました。</p>
<p>放課後対策課長</p>	<p>まず委員については奥野地区の場合が逆に例外というか、たまたま同じ地区で1小学校1中学校という地区ですから、一緒になっておくのキャンパスという形で進めていきたいと思いますということでもとまりやすかったんですけども、ほかの場合ですとやはりそう簡単にはいきませんので、各小中学校ごとに委員を選任していただくようになろうかと思います。ちょっとまだ想定なんですけれども、そういうふうには想定されます。</p> <p>あと、幼稚園との関係ですが、幼保小中の連携というよりももっと大きな視点の中から捉えていかなければいけないと思うんですけども、コミュニティ・スクールの運営の中では、具体的にはまだちょっとイメージがつかないんです。申しわけございません。</p>
<p>五十嵐委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>芦田委員</p>	<p>今の五十嵐委員からのご指摘、私も実際ひたち野うしく小学校のコーディネーターをさせていただいているんですけども、正直なところまだ中学校との関わりというのは進んでいません。ひたち野うしく小学校の場合ですと、現在</p>

	<p>ですと中学校区は下根中学校で、小学校は中根小学校と2つの学校が合わさるわけですが、中根小学校のコーディネーターもなかなか思うように見つからず、今やっただきしている方も本当に一生懸命やっただきしているので、少しずつ少しずつ中根小学校のコーディネーターと交流をしながら、次年度はもう一歩踏み出して、小学校のコーディネーターが一度中学校に伺って、今現在の進行状況とここから先の中学校との関わり方というのを検討していく必要はあるかなと、それは今課題になっています。</p> <p>取手市の教育委員会では、社会教育指導員というのは4人もいます。なぜそんなに社会教育指導員が取手市は多いのかと聞きましたら、家庭教育学級という、小学校1年生でスタートして保護者を集めて教育します。それを充実してやると、その保護者たちがPTAの役員になったり、子供会の役員になったり、相談員になったり、ひいてはその方たちが民生委員になる。大きく広がっていく一番の下の大もとの、家庭教育学級のときに1年生の保護者をつかまえてしっかり教育して、その人たちが地域のために尽くせる人を育てて、その人をずっと上げて行って、いろいろなところで行って、民生の問題なども解決するんだという、こういうビジョンでやっているというわけです。だから、今の人手不足というか、なる人がいないということもあるので、本当に大きなもので、下からじっくりじっくり育てていけるようなシステムもまた必要なのかなと思います。</p> <p>一人残らず質の高い学びを保障してあげることが、学校の中で一人一人の幸せをちゃんと確保してやるんだというビジョンが大もとにあってもらって、その上で地域がどう関わりながらどう活性化していくということだと思いますが、いろいろな行事に振り回されながら、大もとを見失わないように、一人一人の学びとか一人一人の幸せとか、一人のこともみんなでもう幸せにするかみたいなことを根幹に置いてもらえればなというのを本当に感じます。よろしくをお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは次に、予定価格130万円以上の工事計画及び予定価格100万円以上の教育財産の取得について、各課から報告をお願いします。</p> <p>教育総務課より説明有り</p> <p>平成28年度下根中生徒用・椅子購入</p> <p>生徒用机 80台、生徒用椅子 80脚 契約額 1,944,000円</p>

教育長	<p>本日の議事は以上で終了いたしました。続いて、各課からの報告をお願いします。</p>
飯野次長	<p>私からは1点、あす議員全員協議会が予定されていまして、3月2日から24日までの3月定例会が始まるということになります。一般質問も22日までの締め切りということで、10名ぐらいの議員から質問があり、質問の中身が届いているようです。2月1日に閉まったイズミヤの跡地の関係の質問ですとか、あるいは学校給食関係のそういった質問もありましたし、一昨日、行われた稀勢の里の部分を絡めたまちの活性化みたいな質問も議員から幾らか上がっていたなというところもあります。</p> <p>3月は予算の議会とあわせて、来年度に向けて大きな条例改正議案、予算等も審議の要点になりますので、また各課それぞれ議会に対応できるように準備を進めていきたいなと思います。</p> <p>私からは以上です。</p>
杉本次長	<p>去る2月4日にいばらきっ子郷土検定がございました。牛久第一中学校の2年生が代表で出まして、見事優勝ということでした。1回戦、予選は負けたのですが、敗者復活で勝ち上がって最後は本当に僅差で優勝となりました。稀勢の里の優勝に続いて優勝ということで、去る2月14日に市長の表敬訪問を行いました。そして、この後2月23日なんですけれども、FM-UUで11時15分からこの郷土検定に出た子たち5名が先生と一緒に出演いろいろなインタビューとかございますので、もしよろしければお聞きいただければと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>文化芸術課 プロジェクションマッピングについて 指導課 3月議会への提出案件の説明 教育総務課 おくのキャンパスについて 中央図書館 図書館だよりについて</p>
教育長	<p>各課からの報告について質問があればお願いします。</p>
芦田委員	<p>おくのキャンパスのバスについてですが、無料なのでしょうか。</p>

教育総務課長	無料です。
教育長	以上で2月定例会を終了いたします。 次回は臨時会を3月15日、市役所本庁舎第6会議室で午後3時から開催いたします。よろしくお願いいたします。